

未婚インタビュー対象者

	年齢	学歴	婚姻状態	子の有無	居住形態	母親の就業	結婚の希望	理想の結婚年齢	結婚年齢の理由	子どもが欲しいかどうか	理想の子供数	理想の子供数 理由
A氏	26	大卒	未婚	無し	寮	ずっと家事・育児をしてきた	有	33-34	理由無し。ただし30後半はちょっとどうなのかなと。	欲しい	2人か3人	3人以上だと確かに経済的負担はあるのかなと思う。うん、逆に1人だと、その子ども寂しい思いさせてしまう可能性があるかなというもあるし。
B氏	27	大卒	未婚	無し	寮	子どもが大きくなってから再就職した	有	40前後まで	ライフプランを考えて。子どもの独立年齢・資金などを考えると。	欲しい	3人欲しい	僕も3人きょうだいだから
C氏	26	大卒	未婚	無し	寮	ずっと家事・育児をしてきた	有	無し(早いほうがよい。かつては就職3年後)		欲しい		
D氏	27	院卒	未婚	無し	寮	子どもが大きくなってから再就職した	有	40前後まで		欲しい		
E氏	25	大卒	未婚	無し	寮	子どもが大きくなってから再就職した	有			欲しい	2人が限界だと思いますね。	だって3人、大学3年生、1年生、高校3年生で3人私立行つた日によ、もう火の車だよ(笑)。だって、学費多分稼ぐためにアコムとか行かなきゃだめだよ(笑)。学費に送り込まなきゃいけない時
F氏	25	大卒	未婚	無し	実家(親と同居)	子どもが大きくなってから再就職した	有	無し	今ではないです。まだ仕事も始めて3年ぐらいで安定してないっていうのもありますし、これから軽動があった	欲しい	2人がいいですね。	
G氏	26	大卒	未婚	無し	寮	子どもが大きくなってから再就職した	いい人がいれば	無し				
H氏	27	大卒	未婚	無し	寮	ずっと自営の仕事や内職を続けてきた	有	30前半(33-34)		欲しい	3人	結婚して2人ですよね。3人生まれたら1人分繁殖してしまふもん(笑)。繁殖力で勝つたみたいいな(笑)。
a氏	21	在学中	未婚	無し	実家(兄、父方祖母と同居。両親)	ずっと家事・育児をしてきた	有	意外と結婚年齢が何歳であるかということにとらわれなくてほしいかな		有	ちょっと、理想では考えられないし、2人から3人じゃないですかね。	さっきも言ったとおり、社会的自己実現を目指すにせよ、子どもが望む進路をとらせてあげたいという親心を計算すると、ぎりぎりじゃないですかね？ だって、高いんだもの、日本の教育
b氏	22	在学中	未婚	無し	実家(親と姉と同居)	ずっと自営の仕事や内職を続けてきた	有		やっぱり親の年齢と子の年齢が離れ過ぎちゃうと、もちろん育てたときにすごい年になっちゃうし、その後が	有	理想は2人。	1人だとやっぱり……。きょうだいがいるということ、それ人間間的というか、得られるものがあると思うんです。きょうだいという関係として成長していく中で何か、子どもにとって一人っ子で
c氏	21	在学中	未婚	無し	一人暮らし・西所沢(実家は北海道)	その他	有 (結婚したいんだけど)			有	僕も2人です。	男1人、女1人。子どものことを考えているんじゃないですけど、自分が育てる場合として、男、女ではやっぱり違うと思うんで、経験できることは全部したいなという……。
d氏	22	在学中	未婚	無し	一人暮らし・所沢市(実家は愛知)	子どもが大きくなってから再就職した	有			有	僕も正直何人でもいいんですけど。具体的に言うなら3人かなと思います。	その理由として、3人の兄弟というのが一番IQが高くなるという情報……。笑)本当にそうなるかというのを……。笑)3人くらいなら社会ができるんですね。子どもの社会。
e氏	22	在学中	未婚	無し	実家(埼玉県蓮田市、両親、父)	子どもが大きくなってから再就職した	有	父が、多分おれが35歳のときにおれができたときと聞いたので、それよ		有	多分僕も2人ぐらい欲しい。	理由としてはb氏と同じで。理想というのは話がちょっと違ってきちゃうんですけど、やっぱり2人以上、3人とかになってくると家計のほうが悪くなるかなとか……。
f氏	20	在学中	未婚	無し	一人暮らし・所沢市(実家は徳島)	その他	有			有	自然に任せるで。(笑)	そんなに考えたことがないというか……。時々あるんじゃないですか、こういう質問が、でも、あまりイメージがわかないというか……。
g氏	22	在学中	未婚	無し	実家(両親、兄父方の祖母と同居)	結婚前からずっとつとめを続けてきた	有	30の前で結婚したい、と思うんですが、やっぱり仕事のとかの	勝手にそう思っているんですけど、子どもができたときに親がある程度苦いほうがいいんじゃないかなというのがある。	有	僕も3人ぐらい。	きょうだいという要素は外せないというか、やっぱりあったらあった方がいいと思うし、いろいろ学ぶこともあるんじゃないかなと思って。自分が兄弟だからそう思うところもあると思うんですけど

未婚男性インタビュー要約

A氏

■年齢：26歳

■学歴：大卒

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：寮

■母親の就業：ずっと家事・育児をしてきた

■家事能力：あり(結婚して自分が食事を作ってもいいと思ってる).

■結婚の希望

有

■理想の結婚年齢

33-34歳

■結婚年齢の理由

理由無し。ただし30後半はちょっとどうなのかなと。

■理想の婚姻形態

・(妻は)小学校中学年ぐらいまでは家において、そこから働き始めるぐらいがいいんじゃないのかな、やっぱり幼稚園に入る前まではやっぱり働いてほしくないっていうか、子どもの面倒を見てほしいんですけど。入ってからは基本的に、もう5時とかに終わる仕事はやってほしいんですよ。というのは、やっぱり労働者って同じ立場からのもの話し方ができるというか、対等の立場で多分話せると思うんで。一方で専業主婦になっちゃうと、やっぱりこっちが働いて頑張ってるのに、何で、何かさぼってんな的な。(笑)だから対等の立場っていう意味で、やっぱり働いてほしいなという。働いてる人の目線でものを話してほしいというか、というのがありますね。

■子どもがほしいかどうか

欲しい

■理想の子供数

2人か3人

■理想の子供数 理由

3人以上だと確かに経済的負担はあるのかなと思うし。

うん、逆に1人だと、その子ども寂しい思いさせてしまう可能性があるかなというのもあるし。

■子育て観

やらせたいことは全部やらせてあげたい

■子どもの性別の希望

運命です。

■子育てへの参加意識

(子供が生まれたばかりの時，ふだんは奥さんが日常の面倒を見てることを前提として，土日，自分が休みのときに奥さん並みに自分がやるつもりはある。)

B氏

■年齢：27歳

■学歴：大卒

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：寮

■母親の就業：子どもが大きくなってから再就職した

■家事能力：(家事的に、掃除、洗濯、ご飯の支度)できますね。

■結婚の希望

有

■理想の結婚年齢

40歳前後まで

■結婚年齢の理由

ライフプランを考えて、子どもの独立年齢・資金などを考えると。

■理想の婚姻形態

・専業主婦じゃないですけど、まず働いてる間はいいです、2人とも自由な、子どもがいない場合。いなければ、別に働いていてもらっていても構わないですけども、子どもができたときに、幼稚園とか大きくなって上がってきたときに、家に帰ったときにカギっ予って嫌だなと思うんです。だからそういうときに、自分もそうだったんですけど、小学校の低学年で帰ってきたときに、まずお母さんに報告するじゃないですか。今日何があった、何があったとか。そういうときに聞いてくれる相手がいないと多分非行に走ると思うんです。(笑)

・子どもができたら家にいてほしい。

・自分が、実家のほうの何か風習というかそんな感じなんです。どこの家も、田舎なんでどの家もお母さんが家にいるっていう。

・(母は)結婚前は働いてました。結婚を機にやめて。一番下の弟が大学生になったんで、それを機に働き始めてますけど。(そういうのがよい)

・専業主婦がいいってわけじゃないです、子どもが帰ってきたときにいてほしいというだけなんです。

・ただ問題となる、今対等な立場でものを言うといったときに、もうそれは(専業主婦も)対等じゃないですか、働くといった意味では。

・労働時間って違いますよね。その上で同じふうやってと言われたときに、家事を、それで実際できるのかっていったらできないと思うんですよね。そうすると何か女の人のほうに負担がいつているみたいな感じにはなるじゃないですか。

■子どもがほしいかどうか

欲しい

■子どもがほしい理由

おれの遺伝子を残したい（笑）.

■理想の子供数

3人欲しい

■理想の子供数 理由

僕も3人きょうだいだから

■子どもの性別の希望

男, 女.

■少子化問題について

- ・どうしても少子化というとな、年金が思い浮かんじゃうんですよね.
- ・普通に子どもがいるのがメリットがあればそこにね、税を軽くしたり、そこに資本投下したりということは、国からすれば正しいんじゃないと思うけれども、おいおい、だからおれから税金取るのかよってなったら、おい待てと、いうふうになると思うし.

C氏

■年齢：26歳

■学歴：大卒

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：寮

■母親の就業：ずっと家事・育児をしてきた

■家事能力：あり(結婚して自分が食事を作ってもいいと思ってる)。

■結婚の希望

有

■理想の結婚年齢

無し(早いほうがよい。かつては就職3年後)

■結婚年齢の理由

3年ぐらいは働かないと、このままのスタンスで、というのは収入ですよ。経済的に安定できるかどうか3年ぐらいたたないとわからないかなと。だから経済的安定がしてれば、大学卒業してすぐでも結婚したかったですけども、経済的には安定したんですけど相手がいなくなったという。

■理想の婚姻形態

・一つあるのは、僕、ほかの方も含めてですけど、転勤族があるんで、お互いが総合職的な仕事はできないだろうというのが条件としてかかってきますね。その、いい悪いじゃなくて、そもそも無理と。結婚して二つの世帯をつくる気はないので。もう一つあるのは、子どもが小さいときには家にいてほしいっていうのがあるんですけど、僕は、できる限り子どもがいない間は外に出てほしいと思いますね。外のかかわり合いは持っていてほしいかなと。

・小さい子どものころと中学校のとき、その思春期を迎えるころっていうのは、多分かなり子どもの的にも不安定で微妙なんで、いや、微妙なんだろうという、はたを見ても自分の経験でも。だからその微妙な変化を、僕が残るか嫁さんが残るかはそれはわからないですけども、だれか1人が見てあげたいなというのはありますよね。

■子どもがほしいかどうか

欲しい

■子どもがほしい理由

・遊びたい。遊ぶっていうのは育てたいっていうのも。

・遺伝子残したいのと近いのかもしれないんですけども、子どもができて、その子どもの人生見てたら、自分とやっぱりシンクロできると思うんですよ。

こう、写して、じゃあ、違う人生見てみたいっていうのはあるのかなと。

■子育て観

・僕は親が、親が介入するのは大学に入るまでだと思ってますんで、大学入ってから、例えばアメフトやりたいとか留学したいっていうのは、それは好きにしたらいいけども、金も全部自分でやれっていうことだけですね。

・その大学入る前、中学校とか、高校になってくると大分分別ついてくると思うんですけど、中学校の段階で——こっち側が基本的には握ってると思うんですよね。子どもの自我とか個性とかっていうのは、そこまで確立してないと思ってるんで、親がある程度ルール敷くっていう言い方をしますけど、敷いていいと思ってるんで。

・だから、そのときの、だから僕のその経済的なキャパシティの中でこっちが判断すると、すべて。子どもも好きなことをやっていいけど、自分たちも好きなことをやりたいと。だから子どものために全犠牲になる気はないと。

■子どもの性別の希望

男です。

■育児休業その他

子どもが生まれましたっていても、会社が率先して、じゃあ育児休暇使っていいよっていう雰囲気にもならない、まず。

■子育てへの参加意識

・もちろん（ある）。

・嫁さんが、その前提で家に子どもが小さいときはずっといるということであれば、土日とか休みのときで、時間が許せば、完全にかわってやりたいとは思いますがね。1日ぐらい自由な時間をつくりたいとか。

・（子供が生まれたばかりの時、ふだんは奥さんが日常の面倒を見てることを前提として、土日、自分が休みのときに奥さん並みに自分が育児をやるつもりはある。）育児を勉強したい。勉強はしますし。育児っていうか家事をやってあげたい。

・小さいころ、男親と女親っていうのは多分子どもに対して違う見方を提示してあげることっていうのは、すごい大事なことだと思うんですね。同じような形をすることはないと思うんですけども。もう一つあるのは、さっきずっと話の中でも、子どもってやっぱり親が一番影響を与えることなんですね。じゃあ子どもが親になったときに、じゃあ、女の子だった場合、子どもを育てられない女の子にするのか、それとも子どもを育てられる女の子にするのかとかいうのが大きいと思うんですよね。Bさんが言ったように身体的に女の子はおっぱい出るとか、子どもを実際に産むとか、そういうことがあることは前提としてあるわけなんで、それは覆せないですね。そしたら、やっぱり自然のその法則

からすると、女性がメインで男は補助になるのかなと。

■不妊に対する意識など

- ・(不妊治療をしたいかどうかは)治療の程度によりますよね。
- ・だから体外受精とか、その普通の態勢で、できないことに対しての治療はしたいと思うんですよね。不妊治療とか。何か試験管でつくるっていうのは、僕はそれだったら要らないかなと。
- ・パートナーがそれをどうしても望むんだったら(不妊治療をしたい)。

■少子化問題について

・個人的なその子どもを持つ、持たないとかいうことを考えると、自分たちの子どもができたときに、同級生っていうか周りが少ないっていうのは、僕はかわいそうだなと思うんですよね。僕なんかベッドタウンで育ったんで、嫌っちょうほど人がいっぱいいたわけですね。そうするとその中で本当にいい人も会えるし、いろんな、まあ同世代がたくさんいるっていうのは、すごい子どもにとってはいいことだと思うんです。公園で同年代で遊ぶとかいうのもできるでしょう。それがやっぱり少なくなってきたっていうのは、すごい小さい話でいえば、子どもにはかわいそうかなと。

・一つあるのは、その地方公共団体で、さっきのE氏の話で、バラバラの制度があるっていうのが、国全体として地方自治体も国の行政と一つの中に組み込めば不効率ですよ。つまり、隣の市でやればこっだけ出たのに、隣の市でやったらこっだけしか出なかったっていうことは、まずみんなに認知されてないっていうことが一つと、その制度が有効に機能してないわけですよ。つまり制度を、地方公共団体がそういうことをつくった背景には、子どもを育ててあげ、安いような福祉の意味合いが強いわけですが、それが全体として国の中でバラバラのときに、こうやって僕らみたいに転勤が多いところになると、その制度を当てにして人生設計は組めないわけなんですよ。

・つまり産んだら幾らもらえるんだってことをわからない。で、じゃあ生まれたら「ああ、こっだけもらえたんだ」では、制度の意味としてはかなり半減してると思うんです。国を統一的に一つの制度のまとめることは、みんなそれを知って、産んだらこっだけもらえるんだっていうのは、子どもを産むことに関して言えば非常に人生設計は役立つと。

・もう一つ子どもを産ますことの意味っていうのは、経済的にGDPを〔なんぼ?〕上げるかという計算がいっぱい出てますけども、その意味とやっぱりバラエティ、層を厚くするということが国の責任だと思うんです。それはプライベートだけの話ではないことですよ。やっぱりお金とか労働力とか、国のその生産性という意味で少子化というのは問題だと思うし、あとは、生物学的な話をすると、バラエティに富んでる人間がたくさんいたほうがいいわけで

すよね. というのは, 例えば野菜1個育てたとしても同じ野菜を育てるといったら, そこで例えばウイルスとか発生したら打撃が受けて.

- ・リスクもあって, やっぱりたくさん種々の人間がいたほうが, 発展ていうんですか, 持続的な世界を築き上げられる.

- ・国の政策として, 税金集めるのも国の政策だから, 日本国というのを全部あげていこうという中で, 広く見たら子どもを持つてる人のほうが国にとってメリットをくれてるといふのであれば, 国として全体の税金を集めた配分の方法とかを若干国に対してメリット与えてくれてる人に優遇措置を与えるというのがいいと思うんですよ.

■その他

- ・いろんな話の中で, 子ども1人つくるのにこっだけ負担がかかると, 子どもに金かかる上に仕事もやめなきゃいけないと. それでもあえて子どもを産んでくれるんだから, みんなで助け合おうといふんだったら, そういう説明をちゃんと理屈をつくられるんだったら, その独身者に課税というのもあり得ると思うんです.

D氏

■年齢：27歳

■学歴：院卒

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：寮

■母親の就業：子どもが大きくなってから再就職した

■家事能力：ある(結婚して自分が食事を作ってもいいと思ってる)。

■結婚の希望

有

■理想の結婚年齢

40歳前後まで

■理想の婚姻形態

・幼稚園とか通い始めたら子どもが帰ってくるまでにはどっちかが戻っていてほしいというのはありますね、だから。

・働いてほしいと思います。ずっと専業主婦というのは嫌ですね、どうしても。何らかの形で外の世界と接触を持ってほしいと。

・(結果として妻は非常に限定された時間の働き方をしてほしい) というふうな形になると思います。実際はそうだと。別に僕がパートでもいいんですよ、養ってもらえば(笑)、それは。働かないで食えて、まして働かないで食えていけるんだったら、それは。どちらかといったらきっと僕が終日働いて、奥さんになる人は。家に入ってほしいというか、ずっと専業主婦というのは嫌ですね、どうしても。何らかの形で外の世界と接触を持ってほしいと。

・ずっと家にいて楽しいのかなっていう感じは、やっぱりありますね。

・どうしても自分の親と重ね合わせちゃいますけど。

■子どもがほしいかどうか

欲しい

■子どもがほしい理由

・子どもを持ちたいって明確に言えないですけど、僕は結婚するということは、やっぱり子どもを持つっていうのが一つセットになって考え方として。

・要は、子どもをつくろうと思わなかったら別に結婚しなくてもいいなと思うんです、相手がいたとしても。

・まあ本能的にあるんだとは思うんですね。もしかしたら遺伝子を残したいと思っているのかもしれない。

・(例えば将来、老後の面倒見てもらおうとか)それはでも僕はありますね。老後

の面倒というか，やっぱり自分が死ぬときに家族は欲しいっていう。

■子育てへの参加意識

(子供が生まれたばかりの時，ふだんは奥さんが日常の面倒を見てることを前提として，土日，自分が休みのときに奥さん並みに育児をやるつもりはある。)

E氏

■年齢：25歳

■学歴：大卒

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：寮

■母親の就業：子どもが大きくなってから再就職した

■家事能力

(家事的に、掃除、洗濯、ご飯の支度)できます。(結婚して自分が食事を作ってもいいと思ってる)。洗濯と食事は好き。掃除は、まあ、ちょっと住みづらくなってきてきたなと思って必要に迫られてやる観はありますけど。

■結婚の希望

有

■理想の婚姻形態

- ・僕は働けばいいと思いますね。
- ・自分がイメージする何か自分の家族の生活と違って、結構自分が経験したものが一番やっぱりイメージしやすくて、それってやっぱり両親であったりするんで。
- ・てめえがやりたいか、やりたくないかじゃないんですかね。

■婚姻形態の理由など

- ・僕なんかもう、すぐにも(今の会社を)飛び出そうとしてるから、絶対嫁にも働いてほしいなと思いますよね。
- ・いつクビになるかわかんないですから、僕の場合は、みんなと違って。
- ・(飛び出すためには2人で働いていたほうが)やっぱ、断然いいですよ。
- ・多分うちの会社の人って多分、そこ(お金)に対する危機感で多分あんまりないと思うんですよ。それなりに年次が進んでいけば、例えばうちの会社の人で、それなりに年次が進んでいって、年をとってきてる収入を得てる人たちっていうのは、例えば今度息子が私立の高校行きたがっているのに金がなくて公立にしろって怒ったんだよと違って話はあんまりしないと思うんですよ。ただ世間一般の水準で考えると、やっぱりそういう話も子どもが2人いて、同時期にお姉ちゃんが大学行って、息子も今度私立の高校へ行くとか言いただしてんだっていったら、多分えらい大変なことになると思うんですけど。いつそんな状況になるかわかんないって僕は思いながら暮らしてるんで、そしたらやっぱり収入が二つあったほうが、子どもに対しても、だって。
- ・どうしてもその私立の高校に行きたい理由が、子どもがあるのに、親が収入

が少ないばかりに行かせてやれないとかってことがあったら、逆にそのほうがかわいそうだなと思うし。

・家に子どもがいなくて寂しくて、とかってこともあるのかもしれないけども、僕、あんまりそんなこと考えなくて、それで不良になったら不良になったで、不良は不良なりにいい世界があって（笑）。

■子どもがほしいかどうか

欲しい

■子どもがほしい理由

遺伝子を残したいというのはあるよね。それは本能でしょう、だって人間の種の

寂しいっていうのがあるかもしれないですよ。

■理想の子供数

2人が限界だと思いますね。

■理想の子供数 理由

・だって3人、大学3年生、1年生、高校3年生で3人私立行った日にゃ、もう火の車だよ（笑）。だって、学費多分稼ぐためにア〇ムとか行かなきゃだめだよ（笑）。学費に送り込まなきゃいけない時期って大体一生、〔3月とか4月とか？〕そのころじゃん。そのころなったら絶対金なくて、それまでに用意しても絶対足りないもん。そしたら、そのためにアイフルとか行くんだよ。そんな無理だよ、絶対。

・経済的な部分さえなければ、例えば手間がかかるとか、子どもがいっぱいいて何か3カ所から殴りかかってこられるとか4カ所から殴りかかってこられるとか、そんなんだったら別にいいですけど。

■子育て観

子どもにはやりたいことをやらせてあげたいと思います。もう真剣にやって、その世界をきわめろと。

■育児休業その他

・(皆さんの会社には育児休業制度があるでしょうか。)多分うちもあるとは思いますが。

・(制度があって、男性で誰か使ってるのを見たこと、聞いたことありますか。)だれも1回も使ったことない。

■子育てへの参加意識

チャレンジしようとは思いますが。多分、抱いたまま多分近ければ嫁の実家とかうちの实家とか、どうにかしてくれといたり、多分そういうふう逃げると思います。多分今すぐ結婚して、今すぐ子どもが生まれて、今このような、同じような年齢で、この状況で生まれたら、多分絶対テンパると思うんですよ。

ね。

■不妊に対する意識など

・(不妊治療は)パートナーが嫌がらなければやりたい。パートナーが許してくれるんだったらやりたい。

・一応第一目的は自分のDNAを残したいなっていうのがやっぱり強いんで、やっぱりそこは、管でも本当に無理だとなったら、じゃあ、そのパートナーと2人で愛情を注いでだれかを育てたいと思うようになるのかもしれない。

■少子化問題について

・子どもを産むっていうことに対して、例えば国が主体的に取り組んでいくってことは別に悪いことだとは思わないですし、むしろやってかなきゃいけないと思いますし。今、東京とかこの辺でも、地方自治体とか市町村レベルによって、その子ども1人産むのに、例えば3歳以下だったら医療費がただだとか、1人生まれたら市から幾ら出るだとか、何かそれも隣の市に行ったら全然違ったみたいなの、そういう状態ってあったりとかするんですよ。

・でも、それはそれで取り組み方が違うと言われちゃえばそれまでなのかもしれないですけど、だったら今何か、だれかが言ってたんですけども、子どもを産むんだったら、子どもを産まれてできることを考えたら、あっちの隣のほうの市にしときゃよかったとか、何かあるらしいんですよ、あまり詳しく知らないんですけど。それを何か国レベルで何か統一というか、ある一定の水準で金が出るとかっていうふうになるんだしたら、もっと楽になるっていう、金銭的に、経済的に楽になるんじゃないかなっていう。

何か会社の周りの人のことを考えると、結構それなりに子どもが、課長補佐になって子どもができて、何か奥さんの入院する病院も何かネイルサロンがついてたり、何か。

ふたを開けて病院の請求書見てみたら、エーって行ってびっくりしたとか。かと思えばほとんどぎりぎりまで家にいて、いざってなったときに流れ込んで入って、出すだけ出てすぐに退院して、本当にかからないようにしてやっても、その入院費どうやって払ったらいいんだって悩んでる地元の友達とか見たりすると、えらい違うなど。

金持ってる人は別にマッサージとかネイルケアとかまでも、全員にしろというわけじゃないけども、おれはその地元の連れが、すげえ子どもの出産費で頭を悩ませてるのを見て、むしろそういう給与水準によって違うと思うんですが、そういう人たちに対して、国はちゃんともっと金とかあげてってやればまあ、もっと産みやすい。

・ある程度お金がない人たちに対して本当にもうちよつとフォローしてあげるっていうことは必要だと思いますけどね。ここってある程度給与水準が同じく

らいの人たちがいて、ある程度恵まれてるほうだと思うんです。その人たちから話を聞けば多分、子どもを実際じゃあ今生まれそうだと感じたときに、そこまで多分不安感じないと思うんですよ。月々もらってる額からこんぐらい出して行って、こんぐらい計算して行って、こんぐらいどこから借りてとかってなれば多分一通り、ああ子ども1人出産して育てるぐらい、あと嫁さん育てるぐらいの可能な収入は得てると思うんですよ。

ただ世の中ってそんな人ばかりじゃなくて、僕の地元の連れなんてほんと雨降ったら仕事なくなって収入ゼロになって、トラック転がして、そんな状態のやつに子どもができた瞬間に、金貸してくれって言いに来て、断れないみたいな。しょうがねえなって言って、まだ返ってきてないみたいな。そういう状態はありますからね。いろんな人がいる中で、いろんな人に対して効果的な補助っていうか、経済的なお金の面でのフォローを。

そういうところに視点を置くことが必要だと思いますね。僕は別にそんな不安は感じないですけど、遊ぶ金を減らせばいいと思うだけだから。ただ生活するのがぎりぎりのやつらからしたら、産みたいけど、産むしかないんだけど、その後どうすればいいのっていう不安を持ってるやつらからしたら、それってもう全然解決できない問題だと思うんですよ。

F氏

■年齢：25歳

■学歴：大卒

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：実家（親と同居）

■母親の就業：子どもが大きくなってから再就職した

■家事能力：掃除だめだな。（食事は）つukれないんで、しょうがない。

■結婚の希望

有

■理想の結婚年齢

無し

■結婚年齢の理由

今ではないです。まだ仕事も始めて3年ぐらいで安定してないっていうのもありますし、これから転職があったりっていうところで、自分の足場を固めたら結婚をするのかなというところで、いつというのはイメージにはないですね。

■理想の婚姻形態

・収入っていう面から考えて、やっぱり基本的には働いてほしいなっていう。やっぱり収入はあるにこしたことはないと思いますし、その分いい生活ができるというのは、やっぱり現実としてあるとこなんで、基本的には両方働いて、お金の面からも奥さんには働いてほしいなと思います。

・でもフルタイムで稼いでもらわなくても大丈夫だよと。

■子どもがほしいかどうか

欲しい

■理想の子供数

2人がいいですね。

■子育て観

僕も基本的にはやらせてあげたい

■育児休業その他

男性はまずとってる人、子ども生まれた人結構いますけど、とれないです。（何で男性はとらないんですかね。）とれない。

■子育てへの参加意識

（子供が生まれたばかりの時、ふだんは奥さんが日常の面倒を見てることを前提として、土日、自分が休みのときに奥さん並みに育児をやるつもりはある。）

G氏

■年齢：26歳

■学歴：大卒

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：寮

■母親の就業：子どもが大きくなってから再就職した

■家事能力：(家事的に、掃除、洗濯、ご飯の支度)できます。(結婚して自分が食事を作ってもいいと思ってる).

■結婚の希望

いい人がいれば

■理想の結婚年齢

無し

■理想の婚姻形態

・僕絶対、専業主婦はやめてほしい。子どもが1歳2歳というときに外に出るとは思わないですけど、子どもいないのに専業主婦は絶対やめてほしい。

・(理由は)経験というか、上の人とか経験者からしか聞いたことないんですけど。でも何か家に帰ると、1日ずっと家にいるわけじゃないですか、専業主婦は。テレビ見て、何かして、帰ってきた瞬間にガーッとしゃべるわけじゃないですか、しゃべる相手がいなくて(笑)。家に引きこもること自体あまり健全な生活と僕は思わないんで。

・(母親は)働いてた。まあ、パートとかですけど。でずっと働いて、もうずうっと、幼稚園のころからずうっと。まあ、職場は幾つかかわってますけど、そういう感じで今も働いています、ずうっと。

・それは親がそうだったからっていう気はしないですけど、パートナーがずうっと家にいるっていうのは。

■自分の育ちの経験

・(母親は)働いてた。まあ、パートとかですけど。でずっと働いて、もうずうっと、幼稚園のころからずうっと。まあ、職場は幾つかかわってますけど、そういう感じで今も働いています、ずうっと。

・それは親がそうだったからっていう気はしないですけど、パートナーがずうっと家にいるっていうのは。

■子どもがほしい理由

・結婚しなかったら、子どもは多分いない。結婚してないのに子どもをつくるっていうことは多分なくて、それはなくて。いやそれは多分ないっていうか、

そこは願うするんでしょうね（笑）

- ・(子どもが)できちゃったら、そこで、できてそれを産むという決心をしたら、それは結婚するんでしょうね。結婚したからといって子どもはセットではなく。
- ・仮に結婚したとして、子どもができたら産んで育てるんでしょうけど、能動的ではないですよ。フラットに。
- ・いや、できたのにおろせとまではね。

■子育て観

(子供のやりたい事は)僕全部もうやらせたいですね。別にお金を残してあげることも多分しないし、ものを残してあげることも子どもにはしないと思うんだけど、教育とか何かそういう身につけるものっていうのは、残してあげたいなって思うから。ただそれって大学入ってから何か物事を学べてっていうのは、もう人としてでき上がっていると思うから、そういう何かやりたいって子どもながらも思ったものであれば、習い事とかだったらやらせたい。合う、合わないはやってみなきゃわかんないものもあると思うから、それも全部やってみればっていう。

■育児休業制度の取得意欲

(自分が育児休業を使うことは)あり得ないな。使えない。

■育児休業その他

(皆さんの会社には育児休業制度があるでしょうか。)育休はあるよね。

■子育てへの参加意識

- ・時間が合えば(子育てに参加する)という。
- ・(子供が生まれたばかりの時、ふだんは奥さんが日常の面倒を見てることを前提として、土日、自分が休みのときに奥さん並みに育児をやるつもりはある。)そのぐらいできるようになりたい。ちょっと義務感はあるかもしれない。嫁さんが?] 仕事をしてて、まあ、仕事は大変だと言いつつも、ねえ、相手は生き物を相手にしてて、そっちのほうが多分ストレスは大きいと思うし、仕事をしてるっていうのも、何かだべっているときもあるわけで、そういうことであれば、まあちょっとは、日ごろ帰って、飲んで帰ってくることもあるから、ちょっと申しわけないから、じゃあ土日ぐらいはやるよと。
- ・やっぱり抱っことか一緒にお風呂入ったりとか、そういうのはしたいなと思いますけれど。

■不妊に対する意識など

抵抗はやっぱりあるけれど、(不妊治療は程度によっては)そこまではやりたくはない。

だから積極的にはいらない、だから受け身。女性が持ちたいというんだったら。

■少子化問題について

・問題ではない、今は人口的にこうだから、高齢層が多くてっていう状況だから問題かもしれないですけど、もうちょっとしたら低位安定してくるじゃないんですか。そしたら別に人口がふえることが望ましいとは思わないんで、別に。

・どんどん少なくなってくるってことだったら別に、そのまま日本人がいなくなるってことっていうことはないと思うんで。別にいいんじゃないんですか。日本人がいなくなるのは、まあ、何百年先かわからないですけど。その年金制度とかっていうことであれば、それは制度を変えればいいのか、何か技術的なスキルは何かいろいろ考えればいいことであって、子どもが、人口が少なくなるってこと自体にあまり危機感はないです。少子化って日本は少子化だけど、世界的に見たらそんなことないから、あまり何かそんな、どうなんだろう、別に日本人ふやす必要があるのかと言われと、いかがでしょう。だったら何か貧しくなるだけだったら、労働者が欲しいんであれば海外から受け入れればいいし、現に人がたくさんいるわけだから、そんな何が違うのかなと。あまり大きな問題、気はしないですけど。

・誘導することもある程度必要、さっきの話で必要というのと、産まなきゃいけないという教育ではなくて、産みたいんだったら、どうぞ自由に産んでくださいっていう環境づくりは非常に大事なのかなと。

・(子供を産むか産まないかは)別になんか自然に身を任せればいいっていう気はしますけど。

・子どもを産むっていうことは、望んで、まあ望まない方もいるかもしれないけども、望んでやろうとして子どもをつくりたいと思ってできないから不妊治療でお金がかかる。そこを補助するというのはよくわかるけれども。それを、望んでいないところを望ませるように圧力をかけるというのは、また軸が全然違って、そこはちょっとやり過ぎなんじゃ。

■その他

・(もし自分に子供ができなかったら養子欲しいと思いますか。)子ども欲しくない僕としてはあり得ない(笑)

・その貧しいころ(の日本)にきょうだいがたくさんいた、うちの親とかも親戚とかもすごいきょうだい多いけれども、何か大学行くのは上から何番目ぐらいまでしか行かなかつたりとか、やっぱりある程度の制限があったじゃないですか。それを僕らは何か子どもが生まれたらみんなやっぱり大学に行かせたいとか、やりたいことをさせてあげたいとかって思うから、やっぱりお金がかかるよねってことなんだよね。それって、どこまで引き下げるかっていうのは別に周りの環境じゃなくて親の価値観、高い水準を求めなくて低い水準でよければ、多分4人産んでも5人産んでも何とかできると思うんだけど、今周りがそういう環境じゃないっていうよりは、そういう感覚じゃなくなってる。子どもに

いろいろさせてあげたいとか、それはある意味裕福だから、日本全体が、だから。

・この国・・・何か自分の意見が反映されると思ってないからあきらめてますよね。うん、1票じゃ変わらないという。